

	<p style="text-align: center;">「妹が、がんになった。はじめて、がんが身近に感じた」 事前のお知らせ</p> <p style="text-align: center;">乳がんに関わった8人の思いを載せたポスター展を開催</p> <p style="text-align: center;">～日本大学芸術学部（デザイン学科・写真学科）との官学連携プロジェクト～</p>
<p>と き</p>	<p>10月1日（土）～31日（月）午前8時45分～午後8時（31日は正午まで） 本庁舎以外の実施期間・内容は、施設により異なる。</p>
<p>と ころ</p>	<p>練馬区役所本庁舎2階通路、保健相談所（6カ所）、光が丘図書館、南田中図書館</p>
<p>練馬区は、10月の乳がん月間に合わせて、ポスター展「乳がん、ひと、想い」を10月1日から開催する（31日まで）。ポスターには、検診の受診啓発に加えて、乳がんになった本人や、その身近な人の思いがうつられている。</p> <p>ポスター展で紹介したコメントは、区担当者が看護師として病院に勤務していた時に関わった方や、区の啓発事業で寄せられた声などから選んだ。担当者は「自分や、自分の大切な人が乳がんになったら、考えるきっかけにしてほしい」と話している。</p> <p>ポスターは全部で16枚。写真とデザインは、日本大学芸術学部写真学科とデザイン学科の学生11名が作成した。写真学科3年の学生は、「さまざまな視点から乳がんを捉えたプロジェクトです。それぞれに乳がんに対する意識が芽生え、社会全体でより大きな意識になればと思います」と話している。</p> <p>日本人女性が、乳がんにかかる割合は、12人に1人とされており、女性がかかるがんの中で一番高い。また、乳がんの発症人数が一番多いのは40～50代で、この年代は子育てや仕事などが忙しく、自分のことを後回しにしてしまいがちな年齢とも言える。</p> <p>区では、今回のポスター展を通じて、40歳以上の女性の継続的な乳がん検診を勧めると同時に、女性だけでなく家族など周囲の人にも関心を持ってもらいたいと考えている。</p>	



展示するポスターの一例
「兄編」

【乳がんの罹患状況、区の乳がん検診の受診率について】

乳がんは、女性がかかるがんの中で最も多く、日本人女性が生涯で乳がんになる割合は12人に1人と、増加傾向である。国が目標としているがん検診の受診率は50%だが、区の乳がん検診の受診率は、24.6%（平成27年）となっており、区ではさまざまな機会を受診勧奨を行っている。

【乳がん予防講演会「乳がんのお話と乳がんモデル触診体験」について】

区では、乳がんの患者団体「あけぼの-NERiMA-」から講師を招き、小学校などに乳がん予防の出張講座を行っている。その他、今年は「あけぼの-NERiMA-」主催の乳がん予防講演会の開催に協力している。

日時：平成28年11月6日（日）午後2時～3時30分

場所：順天堂大学 医学部附属練馬病院 2号館 マグノリア横山ビル（高野台1-8-9）

講師：順天堂大学 医学部附属練馬病院 乳腺外科 小坂泰二郎医師 / 「あけぼの-NERiMA-」西貝圭子

申込：電話またはメールで大泉保健相談所（ 03-3921-0217 メール OOIZUMIHOSO@city.nerima.tokyo.co.jp）

【参考】 区の乳がん検診事業

対象：40歳以上（平成29年3月31日時点）の女性で区内在住

（平成27年度の区の乳がん検診受診者、妊娠中・授乳中の方、乳房疾患で治療中・経過観察中の方は除く）

実施期間：平成29年3月まで 最終申込期限：平成29年1月31日（必着）

自己負担金：900円 **問合せ：**健康推進課 成人保健係（ 03-5984-4669）

【参考】 日本大学芸術学部でポスター展と、ポスターに使用した写真のオリジナル写真展を開催

日時：平成28年10月1日（土）～10月15日（土）午前10時～午後6時

場所：ポスター展...日本大学芸術学部 江古田校舎アートギャラリー

写真展.....日本大学芸術学部 江古田校舎 東棟3階 写真学科展示ホール(旭丘2-42-1)